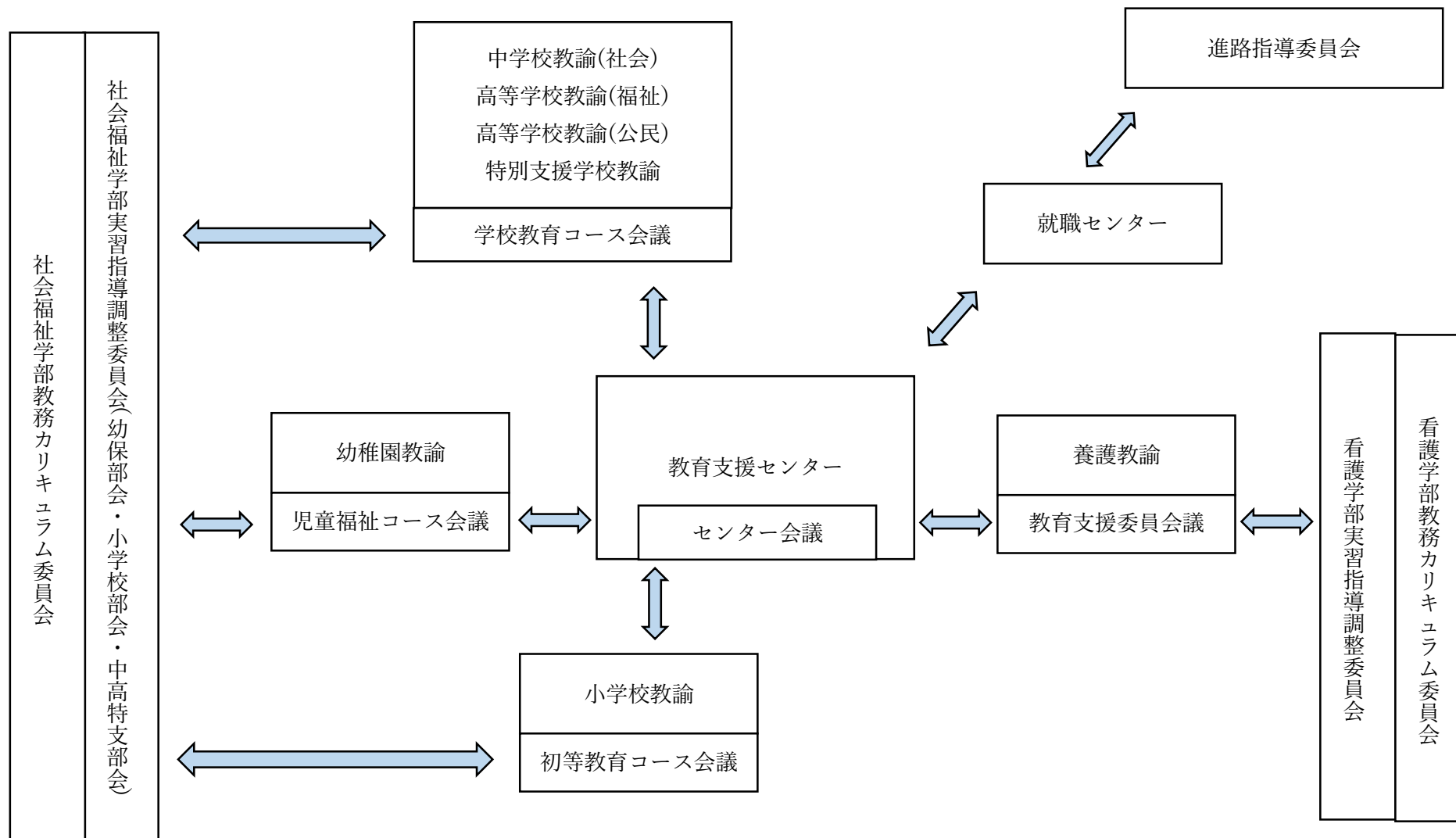


教員の養成に係る組織

①組織図



②委員会等の目的と本年度の計画

社会福祉学部

○実習指導調整委員会幼保部会

目的

幼稚園教育実習における学生の学びの充実をはかるとともに一連の実施運営（実習事務を含む）を円滑に実施すること。

本年度の計画

- ・各実習での学びを系統的に積み上げるための教員間の連携
- ・事前指導の充実
- ・特別な配慮や個別的指導の必要な学生への指導
- ・「実習ガイドブック」の改訂

○実習指導調整委員会小学校部会

目的

充実した教育実習に向け、1年から4年までの系統的な「縦の指導」と異校種実習部会（幼保、中高特支）や専攻間・クラス間の「横の連携」を図りながら実習指導にあたる。

教員採用試験の合格を目指し、「基礎学力養成講座（DVD 講座）」をはじめ、国際交流センターでの英語活動、既存の科目内での対策、外部講師の招聘、模擬試験、夏休み二次対策等を実施する。

教育支援センターや就職センター等との緊密な連携を図る。

本年度の計画

- ・「実習へのガイドブック」の活用を図り、4年間の系統だった教育実習指導ができるようにする。
- ・教員採用試験合格率を高めるため、次の事項を重点的に行う。
計画的・系統的な指導、組織的な指導体制

○実習指導調整委員会中高特支部会

目的

教育実習（本実習）に向けて、実習の意義・目的を理解し、望ましい実習生としての資質等を身につけ、模擬授業等を通して指導技術の向上を図る。児童生徒の障害特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援方法を学ぶ。各自治体で実施される教員採用試験の合格を目指し、教員採用試験対策講座をはじめとし、基礎学力養成講座、模擬試験等を実施する。臨時的任用も含め、将来、教職に従事する学生の支援を行なう。

本年度の計画

- ・1年次より特別支援学校においてボランティア活動を行うよう働きかける。
- ・2年次(中・高)、4年次(特支)から始まる教育実習事前指導の中で、本実習に向け実習生としての心構えや相応しい態度等を学んでいくと共に、模擬授業の充実を図り指導技術の向上を図る。児童生徒の障害特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援方法を習得する。
- ・1年次より年間を通して実施する基礎学力養成講座において、予習復習の習慣を身につけ、基礎学力を習得し、早い段階から教員採用試験を意識づける。
- ・各自治体で実施する教員採用試験合格に向け、3年次後半に教職対策講座Ⅰを、4年次前半に教職対策講座Ⅱを開講し、教員採用試験対策(主に専門教養・教職教養)を充実させる。時事通信社の教員採用学内模擬試験を実施する。学校教育コースと連携しながら大学推薦枠(特別支援)を活用していく。

看護学部

○実習指導調整委員会

目的

大学と実習施設との連携を図り、効果的な実習環境を作り教育効果を高めるための企画・調整を行うこと。

本年度の計画

- ・実習計画表の作成及び効果的な実習を実施する。
- ・実習に対する学生への動機づけを行い、主体的に実習に臨む姿勢を養う。
- ・実習施設との連携を図り、教育内容の充実を図る。

全学共通

○教育支援センター

目的

教職課程及び教員養成に関する業務を充実させ、教職を志す学生に対して進路実現に向けての支援をする。

本年度の計画

- ・学生に対して教職に関する情報の提供や相談、教員採用試験対策(面接、模擬授業、外部講師招聘等)等を実施する。
- ・教員採用候補者大学推薦学内選考についての改善・運営を行う。
- ・新たな基礎学力養成講座の企画・募集・運営を行う。
- ・教員養成に必要な備品・書籍・資料の整備を行う。
- ・教職課程の対応の窓口として、関係分掌との連絡調整を行う。
- ・関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会等への参加。
- ・教職に限定したFD研修を実施する。(学内外)